

## 連休明けの朝

3連休が明け、今日から学年末考査が始まりました。連休後の寒い朝、登校してくる皆さんが元気に「おはようございます。」とあいさつする姿に接し、とてもうれしく思います。4月、長町中に赴任したばかりの時に、「新しい校長先生ですか。よろしくお願いします。」と職員玄関付近で、とてもさわやかにあいさつされたのがスタートでしたが、あれからもう1年が経過しようとしています。

当時、入学してきたばかりの1年生は、あいさつをする声が全体的に小さく、少しぎこちなさがありました。今はとてもさわやかな声と笑顔を見せてくれます。朝の会の時間帯に、1年生のクラスに行ってみると「おはようございます。」と大きな声であいさつしてくれます。わずか数ヶ月で大きく変化しているのが分かります。あるクラスでは、担任の先生が「今日からの考査、十分に力を発揮できるように取り組みましょう。」と話しかけると、姿勢をしっかりと正して聞いている姿が、とても立派に見えました。あと数ヶ月で上級生になり、先輩と呼ばれるようになります。さらに自覚を持って、取り組んでほしいと思います。

2年生のクラスでは、たびたび授業を参観させていただいています。どのクラスも私が後ろの扉から入ると、「こんにちは」とあいさつしてくれます。授業の進行の邪魔にならないかと心配になり、集中している皆さんや担当の先生には大変申し訳なく思っていますが、特に、授業中の皆さんのすばらしい発言やグループ活動での生き生きとした姿をととてもうれしく思います。長町中の核となる学年ですので、さらなる皆さんの成長を期待しています。

3年生は、いよいよ卒業まで残すところあとわずかとなりましたね。すでに進路が内定している生徒、これから公立後期受験を最終目標にしている生徒、小学校の卒業とは異なり、それぞれの道をそれぞれが模索し、進むべき道が分かれていく事が明らかになっていく時期です。進路が決まった生徒達は、今、しなければならぬ事、しておかなければならぬ事をしっかりと考え、新しい生活に向かっの準備をしてください。これから、最終目標に向けて取り組まなければならぬ生徒達は、心身の健康を整え、悔いの残らないように自分と向き合っしてほしいと思います。

以前に集会でも話しましたが、自分の人生を生きていく中で、ここが「踏ん張りどころ」という時が何度かあります。結果はどうあれ、自分がその時をどのように過ごし、どのように乗り越えようとしたか、そこが大切なのです。目的を持たず生きていくと、その踏ん張りどころさえも分からずに通過してしまう事もありますし、いつもその踏ん張りどころから目をそらしてしまうようになってしまいます。今、苦しんだり、落ち込んだりしながら前を向こうとしている生徒、あるいは自分を奮い立たせて頑張っている生徒達は、これからはきっとそのような生き方ができる人になると思います。

アメリカの作家、ヘミングウェイは多くの示唆に富む言葉を残しています。その中のひとつに「**今は、ないものについて考えるときではない。いまあるもので何ができるか考えるときである。**」という言葉があります。今、自分が持っているもの、自分が発揮しようとしている力を信じ、可能性の扉を開けましょう。

15の春に向かって、あと少しの期間、前を向いて進みましょう。